

[ホーム](#) > [組織でさがす](#) > [埋蔵文化財調査センター](#) > 平成28年度 発掘調査報告

平成28年度 発掘調査報告

掲載日: 2016年11月16日更新

平成28年度 発掘調査報告

平成28年度に行われている発掘調査について随時報告していきます。

1月27日更新 北野田B遺跡の発掘調査の様子を報告します。

調査研究課の尾崎です。

北野田B遺跡(豊田市蕪木(かぶらぎ)町北野田)の発掘調査も終盤を迎えております。今回の報告では前回の報告以降、新たに発掘された遺構、遺物について紹介していきたいと思っております。

写真(1)は、**中世の竪穴状建物**です。棚田状に広がる調査区2段目の補足調査で確認されました。写真では分かりづらいかもしれませんが、中央の**隅丸方形状**(すみまるほうけいじょう)に窪(くぼ)む部分が竪穴状建物です。この遺構は湿地を整地して造られています。遺物としては中世の山茶碗、小皿、箸(はし)、板状の木製品、周辺で砥石(といし)が出土しています。その様相から**木製品を加工する作業小屋**であったのではないかと考えています。

写真(2)は、調査区6段目で確認された**石組みの堰状(せきじょう)遺構**です。写真の右側と左側の2列を確認しました。右側の堰(せき)は石組みだけですが、左側の堰は石組みに杭が伴っており、杭で流れを堰(せ)き止めて、石で支えている状況がよく分かります。

写真(3)・(4)は調査区5、6段目のほぼ最終段階の様子です。両写真共に奥の方に石垣状の石組みが確認できると思います。この遺構は、竪穴状建物が掘り込まれている整地土の流出を防ぐものと考えられます。

写真(5)は調査区5段目で確認された**中世の堰状遺構**です。丸太を何本も並べてその上に人頭大(じんとうだい)の大きさの石を敷き詰めています。石の近くから山茶碗が出土しました。丸太は残りが非常に良いためサンプルを持ち帰り、**年代測定**や木の種類を特定する**樹種同定**分析にける予定です。

写真(6)・(7)は、調査区5段目で検出された**板状の木製品**です。これらの板材は、鉄製の工具によって切込みが刻まれており、次の段階で加工されやすくしています。**曲物(まげもの)**の部材にはこのような特徴が見られることから、これらも曲物の部材であると考えられます。

写真(8)は、**曲物の底板**です。同じく曲物の部材と考えられる板状の木製品は大量に出土していますが、その板は現在まで数点しか出土していません。

この北野田B遺跡の調査では、**中世の森林開発**を考える特徴的な遺構や遺物が多く確認できました。今後整理作業を進める中で、遺跡の性格を考えていきたいと思えます。





写真(1): 中世の竪穴状建物

写真(2): 堰状(せきじょう)遺構

写真(3)・(4): 調査区5、6段目の様子

写真(5): 丸太と石を組み合わせた堰状遺構

写真(6)・(7): 切込みが刻まれている板状の木製品

写真(8): 曲物の底板

12月19日更新 北野田B遺跡の発掘調査の様子を報告します。

調査研究課の尾崎です。

12月の半ばに入り、豊田市蕪木(かぶらぎ)町に所在する北野田B遺跡の発掘調査も着々と進んでいます。現在は北東から南西方向にかけて広がる棚田状の調査区の半分(1段目～4段目)について調査をほぼ完了し、さらに5～6段目の調査に着手しています。今回の報告ではこれまでの調査で確認できた注目すべき遺構、遺物について紹介していきたいと思います。

写真の上段右は石で護岸の施された**池状遺構**です。現在見えているだけで東西の幅は約11m、南北幅は約4mあります。遺物としては**山茶碗や木製品**などが出土しており、中世に造られたと考えています。石列は弧を描いて現在掘削途中の調査区に続いていくことから削平を受けていなければさらに大きな池になりそうです。

写真下段右は先ほど説明をした池状遺構から検出された**下駄**です。ともに出土した土器の年代から中世の下駄であると考えられます。この下駄は一つの材を加工して作られています。写真は歯のついた裏面ですが、表面を観察しますと、**足の指の形にすり減った痕跡があり、右足用の下駄であることも分かりました**。当時の人が使ったということを実感することができます。

写真下段左は調査区2段目の東側で発掘された**柱材**です。通常遺跡の発掘調査で柱材が検出されることはほとんどなく、柱材の建っていた穴だけが見つかることが多いのですが、建てられた場所が湿地であり、水につかっていたため腐らずに残っています。写真で見えている部分だけでも長さは1mを越えているのですが、揺すただけではびくともしないので、さらに長い柱と考えられます。どれだけ長い柱材が発掘されるのか楽しみです。

今後も調査の様子をお伝えしていきたいと思います。ぜひまた御覧ください！



上段左: 北野田B遺跡全景写真

上段右: 池状遺構出土状況

下段左: 検出された柱材

下段右: 池状遺構から発掘された下駄

11月16日更新 今年度も発掘調査がスタートしました。

調査研究課の尾崎です。今年度も豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う発掘調査が始まりました。今年度は豊田市蕪木町北野田にある北野田B遺跡の発掘調査を行っています。

調査区は北側から南に向かって階段状に6段広がっています。その中で現在は1、2段目の調査を行っています。

1段目の掘削を進めていきますと、近世の溝状遺構と柱穴が検出されました。遺物としては近世の常滑焼の破片(甕・壺類)が出土しています。

2段目では調査区の東側半分に遺構が集中しています。現在までの調査で柱穴や炉跡と考えられる遺構、長さ4mを超える板材あるいは棒材を一辺とした長方形の土坑状の遺構、杭列などが検出されています。遺物としては遺構の集中する付近で完形2点を含む中世の山茶碗、木製品が多数出土しています。

今後の調査としては、南に向かって3～6段目を順次掘削していく予定です。どのような遺構、遺物が出土するのか今後が楽しみです。掘削を進めながら過去の人々の営みを解明していきたいと思えます！

今後も調査の様子をホームページにアップしていきます。次回の報告をお楽しみに！



上段左：遺構検出、掘削の様子

上段右: 板状あるいは棒状の木材を一辺とする土坑状の遺構

下段左: 杭列出土状況

下段右: 山茶碗出土状況

[一つ前のページに戻る](#)

[このページのトップへ](#)

[このホームページについて](#)

[個人情報の取扱い](#)

[免責事項・リンク](#)

[RSS配信](#)

 シェアする

 ツイート

 LINEで送る

ソーシャルメディア一覧へ

愛知県

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 代表電話: 052-961-2111 ([県機関の連絡先はこちら](#))
法人番号1000020230006

Copyright (C) Aichi Prefecture. All rights reserved.